

## 【水の作文大賞】

### 大切な水を守るには

熊本県 熊本県立八代中学校 二年 吉沢 ゆい

夕食のサラダを彩る真っ赤なトマト。私はこのトマトが好物の一つです。酸味と甘味の絶妙なバランス、食欲をそそる赤色をした トマトは熊本県が生産量一位を誇る野菜なのです。全国でも有数の農業県の一つである熊本県を支えるのは球磨川などの河川、そして豊かで綺麗な水。水稲とトマトを作る私の父はおいしい農産物が生産できるのは球磨川用水の御陰だと言っています。熊本県南部から流れ、八代海に注ぐ一級河川である球磨川は私達へ恩恵をもたらしているのです。

しかし、約二年前に起こってしまった「令和二年七月豪雨。」私は当時中継ニュースを見ていて濁流にもまれ家が流されていく様子に衝撃を受けました。普段は透明感があって美しい球磨川が変わり果てた姿を見て災害の恐怖を目の当たりにした瞬間でもあったのです。突然住んでいた家を奪われることはきつと言葉を絶する程辛いことでしょう。だから、辛い思いをする人々をなくす為に対策を進めることが大切です。

例えばスギ。生育が早く手間のかからないスギは戦後の日本では重宝されてきました。しかし、国産材の需要が減少し林業は産業として成り立たなくなりました。そして放置された森林はどうなるのでしょうか。広葉樹に比べ針葉樹であるスギは保水力が少ない為、土砂災害が起こりやすくなってしまうます。更に近年では林業従事者の数が少なくなり山林の保護が出来なくなっています。その結果、大災害が起こってしまうのです。山の管理を怠れば土砂災害につながり、養殖の魚や赤潮の発生という問題にもつながります。つまり「山と川と海はつながっている」と言うことができます。山を守れば川や海そして大事な「水」の確保ができ、安心して暮らせるでしょう。また、その為の活動として間伐材を利用した製品の販売や様々な会社での植林活動

などがあります。私はこの活動を調べて間伐材を使った製品を買うことで林業への応援ができると思いました。社会全体で森林を守っていく活動が今後もっと広がることを願っています。

さらに、阿蘇山からゆっくりと時間をかけてたまる豊富な地下水。そのようなおいしい地下水が飲めるのは全国でも珍しいのです。私の家では地下水を使っている、水栓を上にならせばおいしい水が飲めます。きつとどの家の水よりおいしいと思っているのです。しかし、このおいしい地下水は使うだけでは未来へ残せません。また、守らなければ近い将来なくなってしまうでしょう。実際、熊本県では地下水の減少が問題になっています。原因として都市化が進み雨水などが浸透する面積が減少していることや、熊本県民が一人一日あたりに使う水の量が他の都市より多いことなどが挙げられています。その為、今ある自然を熊本県民全員で守っていく、「節水」を心がけていくことが重要です。だから私が一番に取り組める「節水」は口をゆすぐ際にコップを使うことだと考えました。私はコップを使わず手を使って口をゆすいでいるので今後気を付けようと思います。

私達にとっても大切な水。様々な恩恵をもたらし、時には脅威にもなるものです。きつと水がなくなったら熊本県のおいしい特産物などが食べられなくなりさらには多くの問題に直面することになるでしょう。そのような状況に陥らない為に私達一人一人が今まで以上に水を大切にしていかなければなりません。そして、大切な水を、おいしい特産物を未来へ受け継いでいきたいです。